

## 新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和6年度 要求額 (千円)	令和6年度 最終査定額 (千円)		令和6年度 要求額 (千円)	令和6年度 最終査定額 (千円)	査定内容	査定の詳細	
政策企画部	計画推進担当・ 公民連携担当	基本計画等推進業務	19,125	18,903	次期堺市基本計画の策定に係る将来推計人口算出等のデータ整理・分析、政策課題の検討等	11,119	11,119	要求どおり	-	1
政策企画部	公民連携担当	大阪公立大学協創推進事業	51,000	51,000	実施件数や研究の規模等を拡大	51,000	51,000	要求どおり	-	4
政策企画部	広域連携担当	2025年大阪・関西万博連携事業	32,092	19,952	万博の機運醸成及び堺の魅力発信 子どもたちの国際感覚の醸成及び未来に向けた行動につながる機会の創出	27,780	15,640	内容を精査	対象、規模等の精査	7

令和6年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	新規・拡充
				事務事業分類	G 企画・計画策定・調査研究事業
事務事業名	基本計画等推進業務			事業番号	001-015
担当部署名	市長公室	局	政策企画	部	計画推進担当・公民連携担当

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	取組の方向性	—	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—
2	関連計画	堺市基本計画2025、まち・ひと・しごと創生総合戦略、堺市SDGs未来都市計画、堺市教育大綱					
3	事業開始年度	令和 3 年度	点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、企業、団体	対象数	—	単位	—	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<p>【計画推進等業務】</p> <p>堺市基本計画2025等の進行を管理し、着実な推進を図ることで、将来にわたって持続可能な都市経営を進める。</p> <p>【SDGs推進業務】</p> <p>・堺市SDGs未来都市計画の進行を管理し、着実な推進を図ることで、将来にわたって持続可能な都市経営を進める。</p> <p>・さかいSDGs推進プラットフォームへのさまざまな企業や団体、教育機関など幅広い主体の参画を促し、会員同士がつながりながらSDGsに取り組むことで、地域課題の解決や、SDGsのゴール達成に貢献する。</p>					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>【計画推進等業務】</p> <p>・堺市基本計画2025、堺市まち・ひと・しごと創生総合戦略等の進行管理</p> <p>・市民意識調査によるKPI等のデータ把握</p> <p>・次期基本計画の策定に向けた検討</p> <p>【SDGs推進業務】</p> <p>・堺市SDGs未来都市計画の進行管理</p> <p>・さかいSDGs推進プラットフォーム会員同士のマッチング</p> <p>・会員に対するSDGs勉強会、個別相談会等の実施</p> <p>・会員同士の交流会の実施</p>					
9	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	企業・団体等					
10	公民連携・協働事業	民間と連携した行政課題への対応、PT・貢献メニューの実施等により計画を推進					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
	さかいSDGs推進プラットフォームのプロジェクトチーム組成	事業	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	5	7	9	11
			実績値	4	4		
達成率	80%	57%					
当該指標を選定した理由	プラットフォーム会員の主体的取組の一つとなるプロジェクトチームの促進により、同取組事例の会員間での広がりや、各企業等への周知等を図ることで、SDGsの意識醸成につなげられるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	会員からの提案、メンバー募集、実施という年度を通じた事業成立となるため、目標年度の令和7年度までで累積11事業とした。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標		
	企業等との関わりのある各種団体での会報誌等による案内、勉強会等の実施	回	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			目標値	20	40	45	
			実績値	32	35		
達成率	160%	88%					
当該指標を選定した理由	数多くの企業等との関わりある団体へのプラットフォームの案内依頼や、事務局による勉強会、交流会等の実施を行うことで、会員入会や会員間の情報共有を促進し、プロジェクトチーム等の事業実施につなげるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	各種団体へのプラットフォームの案内依頼 (13回)、勉強会等の実施 (22回)						

令和6年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	基本計画等推進業務	事業番号	001-015
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和6年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)									
13	財源内訳	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
			決算	決算	決算	予算	予算要求				
		事業費 (a)	26,350	5,773	5,242	8,006	19,125				
		国支出金		391	567	1,458					
		府支出金									
		市債									
		その他 ( 雑入 )		294	418	408	300				
		受益者負担金(使用料、手数料等)									
		一般財源	26,350	5,088	4,257	6,140	18,825				
事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事業費内訳	主な項目	年度	事業費	うち一般財源	主な項目	年度	事業費	うち一般財源		
			R5	予算				R5	予算		
		次期基本計画策定支援業務	R5	予算	0	0	交流会等の会場借上料	R5	予算	508	254
			R6	予算	11,119	11,119		R6	予算	38	38
		堺市市民意識調査業務 委託料	R5	予算	4,000	4,000	プラットフォーム通信運搬費	R5	予算	192	88
			R6	予算	5,000	5,000		R6	予算	15	15
		SDGsイベント運営業務	R5	予算	0	0	その他 (旅費、消耗品など)	R5	予算	977	620
			R6	予算	757	757		R6	予算	1,396	1,096
		会員交流会 (展示会形式) 会場設営等業務	R5	予算	0	0		R5	予算		
			R6	予算	500	500		R6	予算		
		会員交流会 (オンライン) 運営業務	R5	予算	0	0		R5	予算		
			R6	予算	300	300		R6	予算		
債務負担行為		(単位：千円)									
15		期間	R6	～	R7	要求額				10,000	

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
R5まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画2025等の進行管理</li> <li>SDGs未来都市計画の策定 (改定)</li> <li>さかいSDGs推進プラットフォームの活性化</li> </ul>
R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画2025等の進行管理</li> <li>次期基本計画、次期SDGs未来都市計画の策定に向けた検討</li> <li>ICTを活用したさかいSDGs推進プラットフォームの活性化</li> </ul>
R7以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画2025等の進行管理</li> <li>次期基本計画、次期SDGs未来都市計画の策定</li> <li>市民主体による自律的取り組みへと発展させ、さかいSDGs推進プラットフォームを活性化</li> </ul>

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>【計画推進等業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度に「堺市基本計画2025」の計画期間が満了するため、次期基本計画の策定に向けて本格的に検討を進める。次期基本計画の策定にあたり、直近の人口動態などを踏まえた将来推計人口の算出をはじめ市政の幅広い分野にわたる各種データの整理・分析、次期基本計画が見据える2035年度の将来までに予測される変化等を踏まえた計画期間で取り組む政策課題の検討などを行う。</li> <li>堺市基本計画2025、堺市SDGs未来都市計画等の着実な推進のため、市民意識調査等の実施により、KPI等のデータ把握を行いながら各局のエビデンスに基づく政策立案を支援し、KPIの達成に向けた戦略的な取組の推進を図る。</li> </ul> <p>【SDGs推進業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>堺市におけるSDGs推進の牽引・調整役として、令和3年5月26日にさかいSDGs推進プラットフォームを設立 (事務局 堺市)。</li> <li>プラットフォームでは、中小企業をはじめとする様々な企業や団体、教育機関など幅広い主体が参画し、会員同士がつながりながらSDGs推進に取り組み、地域課題の解決に向けた活動を実施する。</li> <li>プラットフォーム設立以降、1400を超える企業、団体、教育機関が参加しており、会員からはSDGsの取組に対して多くの相談が寄せられている。</li> <li>令和6年度は、オンラインでの交流会や展示会形式での交流会を実施することで、会員同士の交流の機会を増やし、さらにSDGsイベントも実施することでSDGsビジネスの創出を促し、会員の協働・協創によるSDGs推進を図る。</li> </ul>
----	---------	---

「堺市基本計画2025」の計画期間が令和7年度に満了

次期堺市基本計画の策定にあたり

将来推計人口等のデータ整理・分析、

2035年度の将来を見据えた政策課題の検討等が必要



令和7年度末に  
改定

## ●事業の必要性

- 次期基本計画の策定にあたっては、直近の人口動態を踏まえた将来推計人口の算出などの各種データの整理・分析、次期基本計画が見据える2035年度の将来までに予測される変化等を踏まえた計画期間で取り組む政策課題の検討などを行う必要があり、外部の専門的な知見等を活かした効果的な計画とするため、関連業務について委託を行うもの。
- 将来推計人口は基本計画の基礎データとして活用するだけでなく、市民サービス等の将来の行政需要の予測などにも活用している。

## ●事業内容

業務委託はR6～R7の2ヶ年を想定。

1. 将来推計人口算出等のデータ整理・分析
2. 政策課題の提案、情報提供
3. 次期計画への意見集約
4. 次期計画のデザイン、印刷製本

## ●予算額

- ・ 令和6年度当初予算要求額 11,119千円
- ・ 令和7年度債務負担要求額 10,000千円

# 令和6年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	新規・拡充
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	大阪公立大学協創推進事業		事業番号	001-027
担当部署名	市長公室	局	政策企画	部
			公民連携担当	課

## I. 基本情報

### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出	
		有	取組の方向性	②中小企業による新事業の創出				
		寄与するKPI	有・無	指標名	イノベーション創出につながる事業数			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(9)産業と技術革新の基盤をつくろう	ターゲット	9.2,9.5	
		有	取組	産学官連携による新事業創出の促進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画						
3	事業開始年度	令和 5 年度	点検対象年度	令和 6 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						

### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	大阪公立大学、民間事業者	対象数	10	単位	件	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	大阪公立大学の知見を活かし、堺市基本計画2025で設定するKGIやKPIの達成及び行政課題の解決、市内中小企業等の新技術開発や製品・サービスの高付加価値化によるイノベーション創出をめざす。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	大阪公立大学が掲げるイノベーションアカデミー構想に関連した「スマートシティ」「スマートエネルギー」「スマート農業」「スマートヘルスケア」「子ども未来社会」や、イノベーション創出、国際交流などの分野で、本市と共同研究や実証プロジェクトを実施。 なお、本事業を「企業版ふるさと納税」による寄附金を活用できる事業として位置づけ、事業費は全額寄附金で充当する。					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	大阪公立大学					
10	公民連携・協働事業						

## II. 事業の目標

### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	目標値	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度	
				-	2	10	10	
	共同研究等の実施件数	件	実績値	-	5			
			達成率	-	250%			
	当該指標を選定した理由	共同研究等の実施件数が、堺市基本計画2025で設定するKPI達成に寄与すると考えられるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	事業組成状況に基づき目標値を設定						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	目標値	実績	実績見込み	目標		
				令和4年度	令和5年度	令和6年度		
				-	2	10		
	事業終了後の実績報告書により、適切な事業の実施が確認できた事業数	件	実績値	-	5			
			達成率	-	250%			
	当該指標を選定した理由	適切な事業の実施件数が、堺市基本計画2025で設定するKPI達成に寄与すると考えられるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	実績報告書により、適切な事業の実施が確認できた事業数を設定。						

## 令和6年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	大阪公立大学協創推進事業	事業番号	001-027
-------	--------------	------	---------

### Ⅲ. 令和6年度予算要求額

#### 事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	0	0	0	11,000	51,000
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他 ( 企業版ふるさと納税 )				11,000	51,000
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源					

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

14	事業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R5	R6				R5	R6		
		大阪公立大学協創推進事業 負担金	R5	予算	11,000	0		R5	予算		
			R6	予算	51,000	0		R6	予算		
			R5	予算				R5	予算		
			R6	予算				R6	予算		
			R5	予算				R5	予算		
			R6	予算				R6	予算		
			R5	予算				R5	予算		
			R6	予算				R6	予算		

#### 債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

### Ⅳ. スケジュール

#### 経過及び今後の展開

R5まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪公立大学中百舌鳥キャンパスに堺市内企業支援に特化した専属コーディネーターを配置</li> <li>・行政課題の解決やイノベーション創出に向けた事業組成を検討</li> <li>・共同研究等の開始、効果検証</li> </ul>
16 R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政課題の解決やイノベーション創出に向けた事業組成を検討</li> <li>・共同研究等の開始、効果検証</li> </ul>
R7以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政課題の解決やイノベーション創出に向けた事業組成を検討</li> <li>・共同研究等の開始、効果検証</li> </ul>

### Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政課題の解決やイノベーションの創出を図るためには、行政単体での取組に加えて、フルラインナップの研究分野を持ち、「イノベーションアカデミー構想」の実現を掲げる大阪公立大学の知的・人的財源を最大限に活用し、連携することが効果的である。</li> <li>・なお、事業費については大阪公立大学と本市との連携を応援する企業からの「企業版ふるさと納税」制度を活用した寄附金を活用するため、一般財源からの費用負担はなし</li> </ul>
------------	---



## 【事業目的】

大阪公立大学の知見を活かし、堺市基本計画2025で設定するKGIやKPIの達成及び行政課題の解決、市内中小企業等の新技術開発や製品・サービスの高付加価値化によるイノベーションの創出をめざす。

## 【事業概要】

大阪公立大学（以下「公立大」という。）が掲げるイノベーションアカデミー構想に関連した「スマートシティ」「スマートエネルギー」「スマート農業」「スマートヘルスケア」「子ども未来社会」や、イノベーション創出、国際交流などの分野で、本市と共同研究や実証プロジェクトを実施。

## 令和6年度当初予算額：51,000千円（負担金）

※財源は全額「企業版ふるさと納税」。令和5年度に納入され、基金で管理していた寄附金を活用。  
なお、新たに寄附があった場合は基金へ積立。

## 【事業イメージ】

- 堺市の行政課題等と公立大の知見をマッチングし、堺市基本計画2025のKPI等の達成に向けた共同研究等を実施
- 公立大の研究シーズや大手企業と、市内中小企業との実証プロジェクト等を実施

## 大阪公立大学

- ・フルラインナップの研究分野
- ・イノベーションアカデミー構想  
「スマートシティ」「スマートエネルギー」「スマート農業」  
「スマートヘルスケア」「子ども未来社会」  
の5つの共創研究ユニット

## 公立大と繋がりのある大手企業等

- ・豊富な資金力や人材、マーケティングのノウハウ
- ・ブランド力や発信力

堺市×公立大  
事業検討協議会



## 堺市

- ・企業版ふるさと納税を財源とした予算措置
- ・行政が抱える課題の抽出

### （政策企画部）

- ・行政課題等と公立大の知見をマッチング  
⇒基本計画のKPI等の達成に寄与する共同研究等を実施
- ・事業全体の進捗、評価、管理等の役割を担う

## 市内中小企業等

- ・技術力を持つ地場産業等
- ・イノベーション創出に向けたアイデア



堺専属  
公立大コーディネーター

### （産業戦略部）大阪公立大学コーディネーター連携事業

- ・公立大に、堺市内企業専属コーディネーターを配置
- ・公立大の研究シーズや大手企業とのマッチングによる新たな産学連携、産産連携の企画を創出

# 令和6年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	新規・拡充
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	2025年大阪・関西万博連携事業		事業番号	001-028
担当部署名	市長公室	局	政策企画	部
			広域連携担当	課

## I. 基本情報

### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進
		有	取組の方向性	②2025年大阪・関西万博の開催、2031年なにかわ筋線開業を見据えた多様な移動環境の創出と観光推進			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9	
		有	取組	観光消費の促進をめざす戦略的な観光施策の推進			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	—					
3	事業開始年度	令和 5 年度		終了(予定)年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—					

### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民、市内企業、団体 等	対象数	—			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	2025年大阪・関西万博の開催は、大阪、関西をアピールする絶好の機会であり、国内外から多くの方が来訪することによる大きな波及効果が期待される。本市としてもこの好機を逃さず、堺の持つ優れたポテンシャルを活かしてその効果を確実に取り込み、大阪府・大阪市や周辺地域と連携しながら、堺の成長、発展につなげる必要がある。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など  ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>○万博開催効果の最大化に向けて、経済団体・関係団体・民間企業等とも連携し、堺市内で機運醸成に向けた取組を実施する</p> <p>○万博が大阪で開催されるという貴重な機会を捉え、次の時代を担う子ども・若者が国際社会を身近に感じ、多様な価値観や広い視野を養うことで、「未来に向けた行動」に繋がるような機会を創出する</p> <p>○万博会場を市域に人を呼び込むゲートウェイとして位置づけ、催事等を通じて、堺の類稀な歴史文化や観光資源をアピールし、堺の魅力を発信する</p>					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	事業者への委託 等					
10	公民連携・協働事業	—					

## II. 事業の目標

### 事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標	万博開催に伴う堺への波及効果の最大化・都市魅力の向上					
	当該目標を設定した理由	万博の開催は、堺をアピールする絶好の機会であり、大きな波及効果が期待される。この好機を逃さず、堺の持つ優れたポテンシャルを活かしてその効果を確実に取り込み、堺の成長、発展につなげる必要がある。					
	目標に対する実績	—					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和4年度	実績見込み 令和5年度	目標 令和6年度	—	
	イベント等での万博の機運醸成・堺の魅力発信の実施	回	目標値	4	10	13	—
		実績値	4	12	—		
		達成率	100%	120%	—		
当該指標を選定した理由	万博効果の最大化に向けた万博の機運醸成、効果的な堺の魅力発信を実現するためには、より多くの方の目に触れる、体験できる機会の創出が必要であることから、活動指標はイベント等の実施回数としている。						
目標値の設定根拠・算出方法	実施目標に対する実施回数						



## 令和6年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	2025年大阪・関西万博連携事業	事業番号	001-028
-------	------------------	------	---------

### Ⅲ. 令和6年度予算要求額

#### 事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)			0	0	0	7,312	32,092
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他 ( )					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源				7,312	32,092

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

14	事業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R5	R6				R5	R6		
		機運醸成等に向けた取組 (万博をテーマにしたイベント等開催)	R5	予算	3,000	3,000		R5	予算		
			R6	予算	20,500	20,500		R6	予算		
		万博会場での魅力発信に向けた取組 (催事等の企画・運営等)	R5	予算	3,000	3,000		R5	予算		
			R6	予算	0	0		R6	予算		
		子どもたちの国際感覚の醸成に向けた取組等	R5	予算	0	0		R5	予算		
			R6	予算	9,300	9,300		R6	予算		
		万博首長連合負担金	R5	予算	0	0		R5	予算		
			R6	予算	500	500		R6	予算		
		その他 (需用費等)	R5	予算	1,312	1,312		R5	予算		
			R6	予算	1,792	1,792		R6	予算		

#### 債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R6 ~ R7	要求額	69,000
----	----	---------	-----	--------

### Ⅳ. スケジュール

#### 経過及び今後の展開

16	R5まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>○万博の機運醸成及び堺の魅力発信 (イベント開催、ブース出展、公民連携による実証実験 等)</li> <li>○子どもたちの国際感覚の醸成 (JICA と連携した出前授業、国際交流プログラムモデル実施 等)</li> <li>○万博会場における催事・展示企画の検討 (万博堺PT や大阪府・市等との意見交換 等)</li> </ul>
	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○万博の機運醸成及び堺の魅力発信</li> <li>○子どもたちの国際感覚の醸成及び未来に向けた行動につながる機会の創出</li> <li>○万博会場における催事・展示企画の具体化及び準備</li> </ul>
	R7以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>○万博開催年度の令和7年度においては次のような取組を実施予定                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶万博運動キャンペーン・プロモーションの実施</li> <li>▶子どもたちの国際感覚の醸成及び未来に向けた行動につながる機会の創出</li> <li>▶万博会場における催事・展示の実施等</li> </ul> </li> </ul>

### Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大阪・関西万博開催に伴う波及効果の最大化に向けて、万博の機運醸成及び堺の魅力発信の取組を強化する。また、万博が大阪で開催される貴重な機会を捉えて、子どもたちの国際感覚の醸成につながる取組等を推進する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶万博の機運醸成及び堺の魅力発信 (万博運動キャンペーンの展開)</li> <li>▶子どもたちの国際感覚の醸成及び未来に向けた行動につながる機会の創出 (子どもたちの万博会場への招待に関する対応、万博国際交流プログラムの本事業実施)</li> <li>▶債務負担行為の新規設定 (子どもたちの万博会場への招待に関する対応)</li> </ul> </li> </ul>
----	---------	---

**令和6年度当初予算要求額：32,092千円**

(債務負担行為要求額：69,000千円)

## ■ 令和6年度予算要求の主なポイント

- 大阪・関西万博開催に伴う波及効果の最大化に向けて、万博の機運醸成及び堺の魅力発信の取組を強化する。
- 万博が大阪で開催される貴重な機会を捉えて、子どもたちの国際感覚の醸成につながる取組等を推進する。

### ○万博の機運醸成及び堺の魅力発信：20,500千円

#### ▶万博連動キャンペーンの展開

(堺の魅力発信等につながるイベントや、ミyakumiyakuとハニワ部長を活用したプロモーションの実施 等)

### ○子どもたちの国際感覚の醸成及び未来に向けた行動につながる機会の創出：9,300千円

#### ▶子どもたちの万博会場への招待に関する対応

#### ▶万博国際交流プログラム（※）本事業実施

※2025年の大阪・関西万博を契機に、全国各地域において、地域住民と万博参加国・地域の関係者が、地方公共団体の事業を通じて継続的に国際交流していくための国（内閣官房）の枠組み

### ○債務負担行為の新規設定：69,000千円

#### ▶子どもたちの万博会場への招待に関する対応